

## 新教育長に澤田 健氏が就任

浅野脩前教育長が任期満了により、10月19日付けで退任されました。その後任として、教育委員会臨時会において澤田健氏（大貫）が選出され、10月24日付けで新教育長に任命されました。澤田教育長に抱負を語っていただきましたのでご紹介します。



### 就任にあたって

教育長 澤田 健

このたび、浅野前教育長の後任として図らずも教育長という重責を拝命することになりました。改めて任務の重大さに身の引き締まる思いがいたします。もとより浅学非才の身であります。先人達が築いた教育の町としての歴史と伝統を、更に継承発展させるため、全力を傾注して取り組んでまいれる所存であります。

さて、学校教育は大きな転換期を迎えております。ゆとりある教育「の実施は、学力低下や学習意欲の衰退という結果を招き、改めて確かな学力の育成こそ大切とい

うことになり、指導方針が変わることになりました。

今、子どもたちに欠けていることの一つに、自立心の欠如が挙げられます。思考力や判断力、表現力等が非常に弱いため、これら身につけさせることが必要です。そのためには、基礎となる知識と技能を習熟させることから始めるべきと再認識されています。子どもたちの学力資質の向上には、家庭と学校、地域とがそれぞれの役割と責任において密接な連携を図らなければ成し得ないと思えます。

また、社会教育については、市民の皆さまが、潤いのある心豊かな生活を送ることのできるような生涯学習の場を整備しつつ、提供していくことが必要と考えております。

私は、愛する神崎町の教育発展のために心血を注いで頑張りますので、町民皆さまのご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 花を植えています！

### 農地・水・環境保全向上対策事業の活動を紹介

農地・水・環境保全向上対策事業は、農村環境資源を農業者だけでなく、集落や関係団体を含めた地域ぐるみで保全し、故郷の農村風景を守っていくことを目的として、平成19年度から始めました。

昨年より実施している神崎新宿・小松・並木・古原・植房・立野地区に加え、本年度から神崎本宿・武田地区が新たに本事業の取組みをはじめ、本町に所在する優良農地の約44%の農用地が対象となりました。

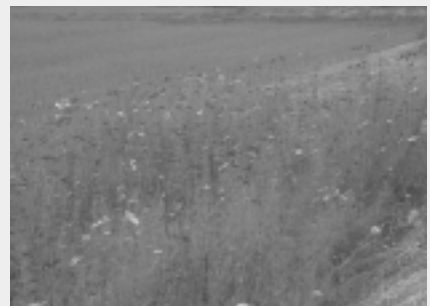
各組織は、農道の補修や除草作業・水路の清掃をはじめとした、施設保全に関する活動の外、遊休農地や農道等を活用し、花の植栽を行い、農村環境資源を魅力あるものにするための景観形成を行っています。今回は小松・武田・植房地区の実施した景観形成の取組みを紹介します。



小松地区：小松塚の町道水路沿いにパンジーを植栽しました。



武田地区：県道沿いの遊休農地にサルビア等を植栽しました。



植房地区：田向踏切から植房地区までの町道沿遊休農地にコスモスを植栽しました。